
2007年度 第2回 音環境運営委員会 議事録

記録:田端

A. 日 時 2007年5月15日(火) 17時00分～19時00分

B. 場 所 建築学会会議室#202

C. 出席者 大鶴 徹, 安藤 啓, 河井康人, 岸永伸二, 古賀貴士, 佐久間哲哉, 田端 淳, 中澤真司,
平松友孝, 宮島 徹(赤尾伸一代理), 吉村純一, 安岡博人(敬称略)

欠席者 井上勝夫, 岩瀬昭雄, 坂本慎一, 濱田幸雄, 福地智子, 吉久光一(敬称略)

D. 提出資料

No.2-0 2007年度 第1回 音環境運営委員会議事録(案)(田端)

No.2-1 2007年度 大会プログラム編成(案)(平松)

No.2-2 2007年度 音環境運営委員会名簿(案)(田端)

No.2-3 2007年度 音環境運営委員会予算(案)(田端)

No.2-4 平成19年度 音響数値解析小委員会委員名簿(佐久間)

No.2-5 日本音響学会建築音響研究委員会 今後の予定(吉村)

No.2-6 2007年度 音環境運営委員会予定(田端)

E. 審議事項

1. 前回議事録確認(資料No.2-0)

- ・承認された.

2. 環境工学本委員会(2007.05.15)報告(大鶴主査)

- ・環境工学本委員会検討内容について井上委員長より以下の6テーマの方針が示された. ①小委員会の自己評価結果の効果検討と利用方法, ②アカデミックスタンダードの作成推進, ③大会の細分類, 細々分類の継続検討, ④環境工学懇談会のあり方, ⑤環境工学用教材の改訂, ⑥横断的な研究テーマの設定や委員会としての組織化検討
- ・鹿島学術振興財団研究助成金に環境工学分野で3件(矢野先生, 吉野先生, 鶴田先生)が決定した.
- ・代議員による環境工学委員会の評価が示された. 概ね高い評価をされた.
- ・2006年度小委員会活動報告を本会ホームページに掲載される.
- ・2008年度大会(中国)予定:2008年9月18日(木)～20日(土), 広島大学
- ・2007年度大会(九州, 2007年8月29日(水)～31日(金))について
 - ・発表件数は史上3番目. 環境工学は1,217件で昨年度より増加. 音環境は75件で昨年度より減少.
 - ・音環境のオーガナイズドセッション「床衝撃音の測定法と評価」は7件.
 - ・発表の司会進行は例年通り.
 - ・建築音響の発表会場は8号館1階816. 定員150名. 他の環境工学の発表会場とは別棟.
 - ・研究協議会(2日目PM), 研究懇談会(3日目AM), パネルディスカッション(3日目PM)
このうち, 研究懇談会は2年に1度実施する.
 - ・環境工学懇親会:2007年8月30日(木), 参加される方は事前申込, 事前振込みを願う.
 - ・大会期間中に非公式行事を開催する場合, 2007年7月20日までに事務局へ連絡する.
会場手配等は先着順.
- ・小委員会で委員を公募する場合は事務局へ連絡する.
- ・「学術推進委員会の仕組みについての改革に向けた意見」が紹介された. ①社会貢献, ②分野間横断, ③分野間連携, ④学術推進委員会組織の改革, が4つの骨子.

- ・ 土木学会と本会の共同研究課題案が土木学会から示された。本会からも提案を行い、今後対応していく。
- ・ 環境工学用教材:佐久間先生,羽入先生,坂本先生が執筆を担当する。全体のバランスをみる査読を行い、2008.03 出版を目指す。
- ・ 「委員会等の運営に関する申し合わせ」が紹介された。
- ・ 能力開発支援事業委員会委員に久野先生(環境工学本委員会幹事)が選任された。
- ・ 環境工学者名簿の作成:本年度実施する改訂にあたり、協力依頼があった。
- ・ 予算実施状況について説明がなされた。
- ・ 大会プログラム編成の調整会議で分野間の移動を行なった。大会聴取者にとって分かりやすい分類とした。音環境に関する移動はなかった。
- ・ 環境工学本委員会資料はダウンロードできるように設定して欲しいという意見があった。

3. 大会プログラム編成(資料No.2-1)(平松委員)

- ・ 大会プログラム編成は資料に示す構成とした。
- ・ 室内音響設計(3日目AM)の司会1は福地氏が都合つかないため、岸永氏に変更する。他の司会は依頼確認中。

4. 音環境運営委員会委員構成(資料 No.2-2)

- ・ 福地智子氏にはオブザーバとして参会願ひ、学校施設の音環境保全規準解説刊行のフォローを担当頂くことと了承された。
- ・ 安岡博人氏には委員として参加頂くことと了承された。
- ・ 運営委員会には委員定数枠がないため、各オブザーバに委員への変更を打診する。了解が得られれば委員として参加願う。

5. 音環境運営委員会予算(資料 No.2-3)

- ・ 昨年度の配分比率に準じ、運営委員会、小委員会の予算配分を実施した。実際の運用では、音環境運営委員会傘下全体で予算額を合わせる。(大鶴主査)
- ・ 予算配分(案)は了承された。

6. 小委員会・WG活動報告

○音環境数値解析小委員会(資料 No.2-4)(佐久間主査)

- ・ 2007年6月19日に第1回委員会を開催予定。年間4回程度とし、1回当たりの開催時間を長めとする。
- ・ 有名なホール等の建築空間をモデリングし、解析を試みる。

○室内音響小委員会(岸永主査)

- ・ 劇場・ホール小委員会とのコラボレーション企画は、両者の意向が揃わないことから見送ることとした。
- ・ 音声伝送設計指針作成WGでは2007年3月のシンポジウムで出された意見・問題点を踏まえた検討を行い、2008年1月末にシンポジウムを予定している。
- ・ スピーチプライバシーWGは、これから会合を予定しており、テーマ選定・研究要素・情報収集等の準備段階にある。

○固体音小委員会(平松主査)

- ・ 2007年4月27日に第1回委員会を開催。2年間の方向性を検討した。
- ・ バングマシンからボールへの移行、評価法の変更に関して検討を行なう。

○建築音響測定法小委員会(赤尾主査(欠席), 宮島幹事)

- ・ 2007年4月18日に第1回委員会を開催。前2年間の成果を、大会で3編として発表する。
- ・ 短時間測定法に関しては、スキャンニング法、実務的な遮音測定法を検討する。

○集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会(濱田主査(欠席), 田端委員)

- ・ 2007年4月23日に第1回委員会を開催。2年間の方向性を確認した。
- ・ 次回委員会では「集合住宅の遮音性能評価水準」という観点で「建築物の遮音性能規準と設計指針」の問題点の洗い出しを行なう。

○企画・広報WG(安藤主査)

- ・ 2007年6月初旬に第1回WGを開催し、今後の方向性を検討する。

7. 他学会予定(資料No.2-5)

- ・ 日本音響学会建築音響研究会: 5/24 東京大学柏キャンパス, 6/29 東北文化学園大学, 7/27 新潟大学
- ・ 日本音響学会騒音・振動研究会: 5/25 名城大学天白キャンパス, 6/22 小林理学研究所, 7/27 新潟大学, 8/24 島根大学

8. CASBEE

- ・ CASBEEへの対応に関しては、坊垣氏(建築研究所)より井上先生に、2008年8月の改訂に当たり、音環境から案を提出して欲しい旨の依頼があった。井上先生は、音環境運営委員会として案を作成し提出したい意向である。(大鶴主査)
- ・ 現行のCASBEEの音環境性能に関する項目は、検討すべき点が多い。専門の担当者が議論すべきである。(佐久間委員)
- ・ CASBEEに関し、音環境運営委員会の直轄WGを組織して案を作成し、運営委員会に諮ることとした。
- ・ CASBEEに関し、意見があれば提出してください。(大鶴主査)

9. その他

- ・ 音環境運営委員会は原則として、環境工学本委員会と同日の17:00～とする。但し、第4回(前記原則に則れば2007年9月21日(金))は、日本音響学会秋季研究発表会(3日目)と重複するため、同発表会のプログラムによっては開催日の変更を次回の運営委員会で検討する。

2007年度 音環境運営委員会予定		
第1回	2007.04.10(火)	(実施)
第2回	2007.05.15(火)	(実施)
第3回	2007.07.23(月)	(決定)
第4回	2007.09.21(金)	
第5回	2007.11.21(水)	
第6回	2008.01.25(金)	
第7回	2008.03.27(木)	

☆次回予定 2007年7月23日(月)17時00分～ 建築学会会議室